



自衛隊栃木地方協力本部

『栃木県シルバー大学生』の陸上自衛隊宇都宮駐屯地見学支援を実施 ～郷土部隊の歴史を学び、防衛意識の向上を図る～

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 古川3陸佐）は、5月14日（火）、『栃木県シルバー大学生』に在籍する学生17名の陸上自衛隊宇都宮駐屯地見学支援を実施した。

『栃木県シルバー大学生』は、高齢化社会を豊かに過ごすためにふさわしい知識や教養を学び、地域社会の活性化を促す人材を養成することを目的とした60歳以上の方が在籍している大学校である。

今回の見学は、『栃木県シルバー大学生』に在籍している家族会の方が立案し、実施についての相談を受けた真岡募集案内所が宇都宮駐屯地との調整を実施した。

当日は、宇都宮駐屯地の広報担当者より駐屯地の概要説明を受け、防衛資料館を見学した。また、防衛資料館の説明案内は『栃木県シルバー大学生』の卒業生で自衛隊OBの方が特別講師として担当した。シルバー大学生の大半が自衛隊の駐屯地内を見学するのは初めてであったため、自衛隊の活動内容や郷土部隊の歴史及び自衛官の平素の訓練についての説明を真剣に傾聴する様子が見られた。参加者からは、「歴史的価値のある数多くの資料を拝見し、郷土部隊である宇都宮駐屯地の成り立ちや自衛隊の活動内容を学ぶことができました」との感想があった。また、「昼食の体験喫食では緊張もほぐれた様子で「栄養バランスもすっかり考えられて、とても美味しい昼食ですね」と、自衛隊メシを楽しんでいた。見学立案者は「家族会の活動の一つに防衛意識を高める為の諸活動というものがありません。今回は自らが在籍しているシルバー大学生の皆様にご覧いただき、個人の防衛意識の向上及び郷土部隊の歩みを貴重な資料等を通じて学んでいただけたら幸いです」と話していた。

真岡募集案内所は、「今後も、自衛隊とは縁がなく、馴染みが少ない地域住民の方々にも、協力者の方々の、社会的地域の繋がりを（ミニミニ）を通じて、自衛隊を知っていただき、理解促進に繋げていきたい」と話している。



栃木県シルバー大学生の皆さん



宇都宮駐屯地の概要説明を受けている様子



将来を担う若者に自衛隊の世界を！ ～職場体験学習を支援～

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 本村1空尉）は、職場体験学習（以下、マイチャレという。）を担当区域の中学生に実施した。

マイチャレとは、生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実践について体験したり、働く人々と接したりする学習活動である。（文部科学省学習指導要領より引用）

足利事務所担当の令和6年5月のマイチャレについては、足利市立毛野中学校（22日、23日）の生徒5名、葛生義務教育学校（28日、30日）の生徒2名に対し、宇都宮駐屯地、北宇都宮駐屯地や陸上自衛隊広報センター（りっくんランド）等を訪問することで、自衛隊の仕事内容や勤務環境を紹介することができた。3日間のマイチャレを通じて、「自衛隊は楽しい職場ですね」といった声や、「将来は自衛隊で働きたい！」と目を輝かせて話してくれる生徒もいた。

足利地域事務所は「今後も、将来を担う若者の活動に、積極的に参加することで、自衛隊の魅力を紹介していく」と話している。



マイチャレの様子